

シリーズ 「補綴装置および歯の延命のために」 Part 2 外傷歯の治療と予後

中島 純子

Treatment and clinical outcomes of traumatized luxated teeth

Junko Nakajima, DDS, PhD

歯の外傷は、破折と振盪、側方脱臼（転位）、陥入、挺出、完全脱臼等を含めた脱臼に大別され、受傷様式に応じて初期治療方法も異なる。永久歯の外傷に関しては、歯冠破折および歯根破折が約半数を占め、転位、陥入、挺出、完全脱臼は1割程度であるが、その約半数で整復固定や再植が行われるため¹⁾、治療の過程がより複雑で時間を要することも多い。また患者の問診時に過去に歯の外傷の既往を聴取した時、補綴治療においてどのような考慮が必要か、という疑問も生じてくる。外傷を受傷する歯は圧倒的に上顎の切歯が多く、特に中切歯の受傷頻度は高く、永久歯では全受傷歯の75%を占めるとの報告¹⁾もある。Andreasenらの151人を対象とした調査報告²⁾によると、陥入歯において1歯のみの受傷は46.3%、2歯が32.4%、3歯以上の受傷は21.3%であり、一人の患者は複数の歯を同時に受傷することが多い。すなわち、完全脱臼や歯根破折などにより抜歯に至った場合には、審美性が求められる前歯部の欠損補綴であることが多く、さらに、支台歯や鉤歯となる隣在歯も破折に対する治療や脱臼等に対して固定を施行している症例も多い。一般臨床医においては、患者や家族への外傷歯の予後や経過、補綴治療の説明にあたり、根拠となり得る情報の提供が必要とされている。

2013年に外傷により脱臼を生じた永久歯の前歯に対する治療内容が予後に及ぼす影響に関して、Cochrane Collaboration（コクラン共同計画）によるEBMに基づいたシステマティック・レビューの作成の試みがなされた³⁾。このレビューでは、脱臼歯に対する抗菌薬の投与の有無、固定期間と固定方法、再植の方法（徒手的、矯正的、外科的）、根管貼付剤の種類を介入事項

とし、歯髓の保存、歯の保存、機能（咀嚼、発音）、疼痛、歯周組織の治癒、動揺をPrimary outcomes、コスト（治療費、治療に要する経費、治療時間、診療回数、患者の仕事/学校の休業時間）、患者の満足度等、QOLをSecondary outcomesとして、文献検索を施行している。しかし、RCTやRCTに準じる臨床論文のみが対象となるコクランの高度の基準に見合う論文を収集することができず、EBMに基づいた結果は得ることができない、と結論付けている。現実的には脱臼歯の再植、固定等の治療と長期予後に関する研究にRCTを求めることは倫理的に困難であると思われ、症例集積報告や専門家の経験・意見に情報を求めることになる。一方で今回渉猟し得た限りでは、外傷歯の長期予後に関する報告は多くはなく、さらに日本人を対象とした報告は海外誌および和文誌においてもほとんど得ることができなかった。これは、日常診療において、外傷受傷直後の歯の初期治療を行う機会があっても、その歯の予後を同じ歯科医師が長期に追跡できる機会は少なく、また過去に外傷の既往のある歯の治療を行う場合にも、急性期になされた初期治療に関する情報を有していないことが一因と考えられる。

このような経緯を踏まえ、シリーズ・補綴装置および歯の延命のために Part 2は、外傷の受傷の既往がある永久歯（破折歯に関してはPart 1に譲る）が絡んだ補綴治療を想定し、有用な情報を総合的に提供する事を目的とした。外傷というアクシデントを乗り越え保存に至った歯は、長期間にわたり良好に機能することにより、真に良好な結果が得られたといえる。今回、経験豊富な先生方に急性期に行われる標準的な治療方法、受傷歯の長期経過について、補綴治療における留

意点について解説を頂き、治療方針の立案における適切な診断、治療の一助になる事を期待する。

文 献

- 1) 小児歯科学会. 小児の歯の外傷の実態調査. 小児歯科学雑誌 1996; 34: 1-20.
- 2) Andreasen JO, Bakland LK, Matras RC, Andreasen FM. Traumatic intrusion of permanent teeth. Part 1. An epidemiological study of 216 intruded permanent teeth. Dent Traumatol 2006; 22: 83-89.
- 3) Belmonte FM, Macedo CR, Day PF, Saconato H,

FMV. Interventions for treating traumatised permanent front teeth: luxated (dislodged) teeth. Cochrane Database Syst Rev 201; 30: CD006203.

著者連絡先：中島 純子
〒359-8513
埼玉県所沢市並木3丁目2番地
防衛医科大学校歯科口腔外科
Tel: 04-2995-1925
Fax: 04-2996-5216
E-mail: nakajima@ndmc.ac.jp